



中央図書館 開館10周年記念 /
横塚真己人先生講演会
を開催しました。



7月23日、『ゆらゆらチンアナゴ』で日本絵本賞を受賞された写真家の横塚真己人先生をお招きし、中央図書館開館10周年記念講演会「地球にすむ生きものたち～ポテトチップスからチンアナゴまで～」を開催いたしました。子どもから大人まで幅広い層の皆様にご参加いただき、開館10周年の記念となる講演会を開催することができました。

横塚先生には、熱帯雨林の環境の変化やボルネオ島・コスタリカなどでの撮影活動のお話を、写真や動画を交えてお話しいただきました。『ゾウの森とポテトチップス』を朗読していただき、一見緑豊かな熱帯雨林もその多くがアブラヤシの大規模農園である、という事実には大変驚きました。さらに枯れ枝に擬態したナナフシの写真は、正解を聞いた後に見ても枯れ枝にしか見えませんでした。

動画から聞こえてくる熱帯雨林に響く動物や昆虫の音声は、自分がその場にいるような臨場感でした。さらには日本絵本賞を受賞された『ゆらゆらチンアナゴ』の撮影秘話など、盛り沢山の内容でした。先生が講演の最後におっしゃった「環境問題を考える上で、まず知ることがはじめの一歩である」というお言葉がとても印象的でした。

講演会の最後には横塚先生のサイン会と写真撮影を行い、参加者の皆様大変お喜びいただけました。今後も皆様にお喜びいただける講演会を開催したいと思います。



☀️ **夏休み！親子で楽しむ科学あそび講座**

7月23日(土) 城山体験学習館にて、子どもと科学をつなぐ会の代田みち子さんを講師にお招きして、「夏休み！親子で楽しむ科学あそび講座」を開催しました。

今回のテーマは「ホネ・ほね・骨」。最初にカエルやトカゲ、ヘビなどの骨の標本を見せていただきました。子どもたちはちょっぴりこわいものを見るような顔で熱心にながめていました。次に、何冊か骨に関する本を読み聞かせしていただき、先生から

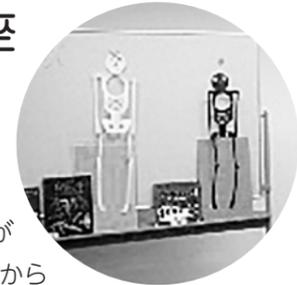


「みんなの骨はどこにありますか？」と質問され真剣に考える子ども達。人間の体には体を支える骨があるから二本足で立っていられるということがわかりました。また、「ヘビの胴体と比べ、境目はどこ?」「鳥の骨は中が空洞になっているのはなぜ?」「キリンの首の骨は何本?」など、おとなでも「へえ～」と唸るようなことも教えていただきました。

そして、お待ちかねの工作タイム。まず鉛筆でお手本をみながら画用紙に線を書いて、その線をはさみで切って、広げてみるとあ～不思議ガイコツになりました。子どもたちもお父さんお母さんも、みんなとても真剣に取り組んで、出来上がったガイコツを持って素敵な笑顔を見せてくれました。

最後には骨には体を支えるだけでなく、内臓・脳を守る、からだを動かす、血液を作るなど、大切な役目があることを教えていただきました。骨のことが知ることができ、工作を楽しみ、家族そろって科学に触れた時間となりました。

中央図書館10周年のお祝いに、なしのすけがやってきて、バルーンアートをプレゼント、みんな大喜びでした。アンケートでは、骨について学べてよかった、骨の標本が素晴らしかった、工作が楽しかったという感想が寄せられました。来年もたくさんの皆さんの参加をおまちしております。



講座の中で代田先生より、骨に関する参考図書をご紹介いただきました。図書館ホームページの「お知らせ」からリストを閲覧になれますので、どうぞご利用ください。

iプラザとしゃかん イベントほこく

モノレール
ってどんなのりモノ??



7月16日多摩都市モノレールの職員の方をお招きし、親子イベント『モノレールってどんなのりモノ??』を開催致しました。

当日は多摩都市モノレールの4人の現役の職員さんがお話をしてくれました。

モノレールの車両を点検する整備士さんはどうしてモノレールが動くのか、どれくらいのパワーがあるのか、いろいろお話ししてくれました。ホームや線路に異常がないか点検する整備士さんも、レールをどうやって点検しているのか、駅のホームの安全を守るために何をしているかなどお話をしてくれました。整備士さん2人のお話は、普段見ること聞くことがなかなか出来ないお話だったのでパネルを使ってわかりやすく丁寧に説明してくれました。駅員さんと運転手さんも、終電が出て始発までのお仕事や運転手さんになるまでどんなことを勉強したのか、どうしたら運転手さんになれるのかをお話ししてくれました。駅員さんと運転手さん

は電車が出発する前の点呼の仕方、出発のアナウンスなども実演してくれました。

最後に、みんな制服を着て大きなモノレールのパネルの前で記念撮影をすることも出来、大満足のイベントとなりました。

一日図書館員を実施しました。

夏休みの人気行事「一日図書館員」を、8/1(月)～8/3(水)の3日間で実施しました。今年も、たくさんの方に申込をしていただきました。ご参加くださった皆さん、ありがとうございました。皆さんからは、「貸出・返却の仕事がおもしろかった」「また図書館の仕事をやってみたい」といった感想をいただきました。中央図書館では、来年も夏休みに一日図書館員を実施する予定です。今回、残念ながら抽選にはずれてしまった方、新たに参加してみたいと思われた方、ご応募お待ちしております。

皆さんに体験してもらった内容

※本を書架に戻す作業のこと

- 図書館の仕事の説明、図書館見学
- カウンターの仕事(貸出・返却)・配架*
- 調べてみよう!(レファレンスサービスの仕事体験)



国会図書館
「図書館向けデジタル化資料送信サービス」
で出会う
貴重書・絶版書の世界

※約142万点の貴重な画像が閲覧できるサービスについて、利用のコツや印刷のルールなど、わかりやすくご説明します。

日時 10月22日(土) ① 11:00～
② 13:00～
③ 14:00～

(各回約40分の講座です)
ご希望の講座開始時間をお選びください。

会場 中央図書館

定員 ①～③ 各2名 ※年齢制限はありません。

申込・問合せ 9月16日から中央図書館